

シンポジウム

# 山寺をめぐる道と 山寺に遺された書物

## — 地方の文化遺産から見えるもの —

上川通夫 (愛知県立大学)

山寺における文字文化の形成と発見 — 三河国普門寺の文化遺産

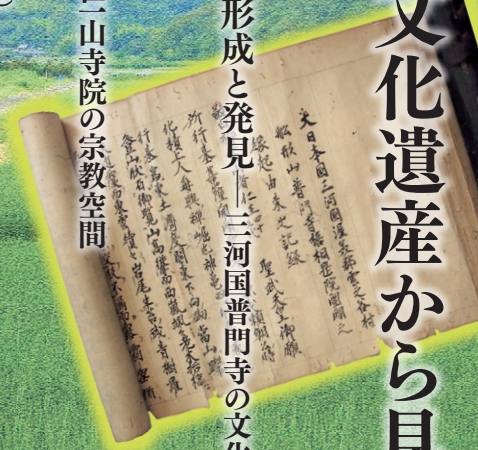
阿部泰郎 (名古屋大学)

普門寺縁起をよむ — 中世二山寺院の宗教空間

大河内智之 (和歌山県立博物館)

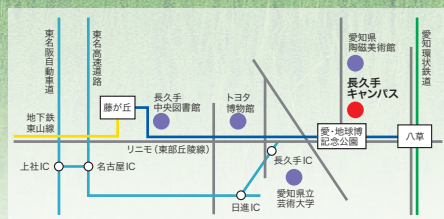
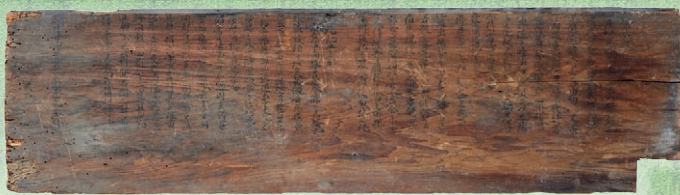
高野山を結界する山林寺院 — 縁起・仏像から復元する地域史

【司会】中根千絵 (愛知県立大学)



新段階に入った山寺研究の現状を踏まえ、中世の普門寺(豊橋市)を中心として、山寺で文書や仏書が生成した歴史を解明しつつ、史料が見出された経緯と課題を提示する。普門寺は、経塚遺物の出土地として知られてきたが、船形山の旧境内が発掘調査され、愛知県史編纂事業に伴う文献調査をきっかけに新史料が続出し、考古学と文献史学による山寺イメージの再構築という研究潮流に合致して、高い関心を呼ぶにいたった。シンポジウムでは、史料紹介と内容分析だけでなく、史料出現の経緯と意義をのべつつ、歴史遺産としての価値を引き出すよう試みる。さらに、高野山麓の寺院をめぐる報告を加えることで、山寺における文化遺産について議論を深めたい。

「普門寺縁起・巻首」「調査風景」「収蔵函」「永意起請木札」(上から順)  
「船形山普門寺の遠景」(背景)



2015年12月12日(土) 13:30~17:00 《参加申込み不要》  
(受付開始 13:00)

愛知県立大学 学術交流センター多目的ホール  
(愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3)

主催 ● 説話文学会

共催 ● 愛知県立大学地域連携センター / 愛知県立大学日本文化学部

愛知県立大学日本文化学部「愛知人文社会ルネッサンス」 / 名古屋大学文学研究科人類文化遺産テキスト学研究センター  
科学研究費補助金基盤研究(S)

「宗教テキスト遺産の探査と総合的研究 — 人文学アーカイブス・ネットワークの構築」 (研究代表者 阿部泰郎)

お問い合わせ ● 説話文学会 (名古屋大学文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター内) E-mail: setsuwabungaku@gmail.com



### バスツアー・資料見学 船形山普門寺

(愛知県豊橋市雲谷町ナベ山下7番地)

《日時》2015年12月13日(日)

《解説》上川通夫(愛知県立大学)

《予定》8:00 名古屋駅出発 (7:50 名古屋駅西口集合)

⇒ 普門寺 ⇒ 浜名湖(昼食) ⇒ 16:30 名古屋駅解散

※参加費無料・参加希望の方は11月27日(金)までに事務局までご連絡ください。

関連展示

「愛知県史を彩る俳人たち〜芭蕉から卓池・秋孝・塞馬へ〜」

《展示期間》平成27年11月5日(日)〜11月30日(日)

《会場》愛知県立大学長久手キャンパス図書館 一階ロビー

「愛知県史展」

《展示期間》平成27年12月1日(日)〜平成28年1月14日(日)

《会場》愛知県立大学長久手キャンパス図書館

※既刊の愛知県史と史料原本を展示し、学術価値と活用方法を解説。